

週間漁海況情報—第33号

平成24年8月20日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

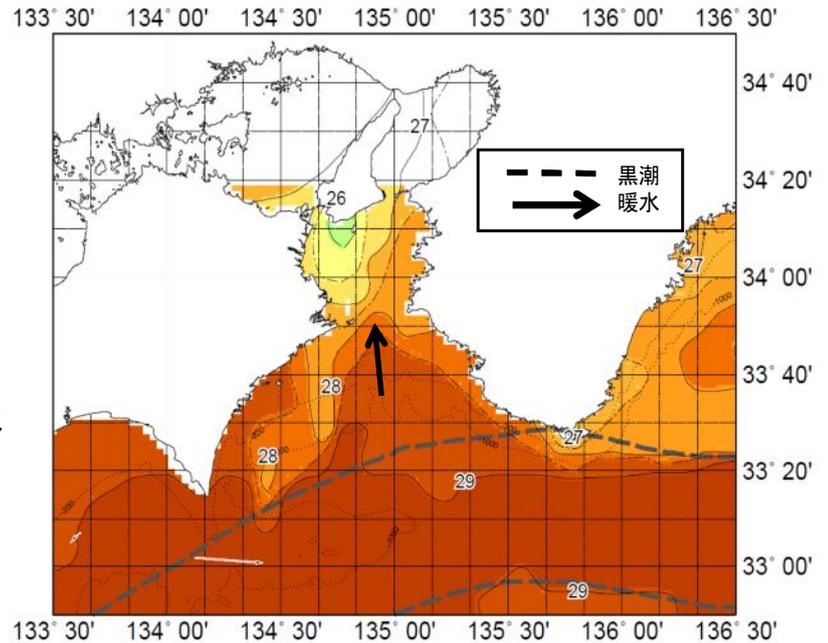
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.8.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

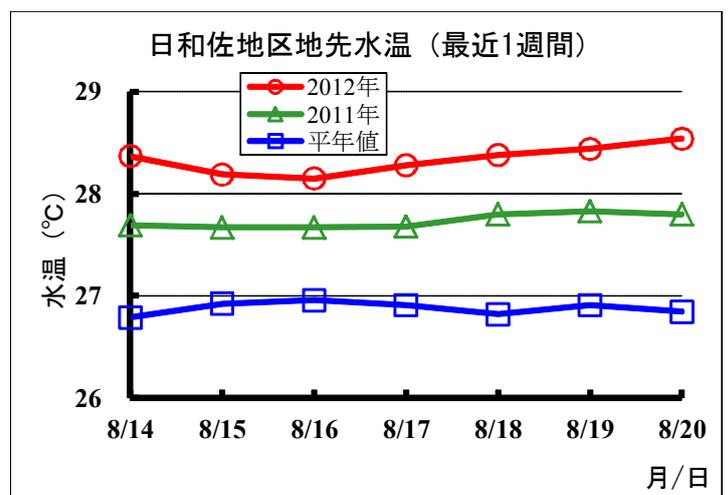
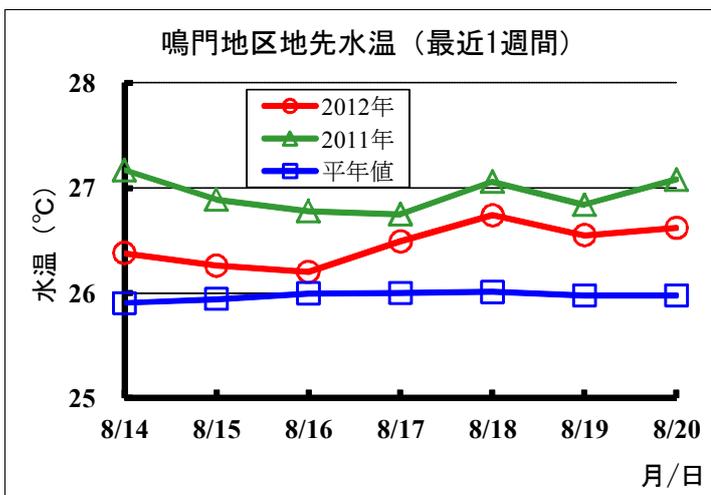
黒潮本流の表面水温は、28～29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で26～27℃台、紀伊水道で26～28℃台、海部沿岸で28～29℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸から黒潮由来の暖水流入がある。

海部沿岸では、高気温の影響により、海水の表面水温は引き続き高めに推移している。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の26.2～26.7℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の28.2～28.5℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の28.2～29.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、小主体にアカムツが0.1トン（1日1隻当たり21kg）、大主体にキダイが0.1トン（同25kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.2トン（同12kg）、マルソウダが0.5トン（同18kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.3トン（同20kg）、中主体にアカムツが0.4トン（同22kg）、紀伊水道で、タチウオが0.2トン（同12kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが62.0トン（同1,000kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 8月13日～19日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	7	147	21	小主体
		キダイ	5	127	25	大主体
小型定置網	海部沿岸	マアジ	13	156	12	小主体
		マルソウダ	26	475	18	
釣り	海部沿岸	ゴマサバ	14	284	20	大主体
		アカムツ	17	370	22	中主体
	紀伊水道	タチウオ	62	166	12	特大・大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	62	62,000	1,000	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年8月15日～21日に、海部沿岸では、小型定置網で、ウルメイワシが1.8トン、ゴマサバが0.4トン、小主体にマアジが2.3トン、マイワシが2.4トン、マルアジが0.3トン、マルソウダが0.5トン、釣りで、イサキが0.4トン、マルソウダが0.5トン、活主体にヨコワが0.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の26～27℃台、日和佐地先で「やや高め」～「高め」の28℃台で推移する見込み。